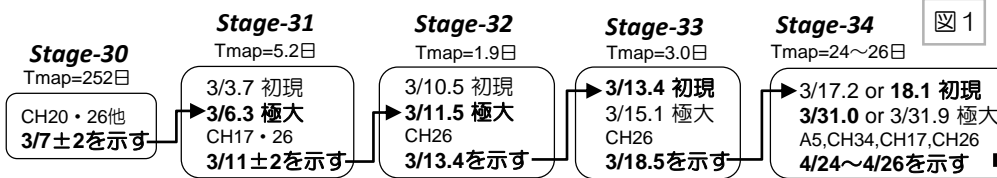


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。
※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

**No1778 長期継続前兆 Stage-34 CH17,34,A5 変動継続・CH26特異変動=極大の可能性
3/27.3 極大認識を 3/31.0 or 31.9 に修正 → 4月下旬時期を示す**



※No1778は地震発生が推定された時期（通常の場合は地震発生）に次の変動の極大や初現が出現し、次Stageに移行する現象が17年8ヶ月の間に30回続いた。数百日単位のStageが本年3月からは数日単位で同様な変化。Stage-34は24~26日での変化を示す模様。

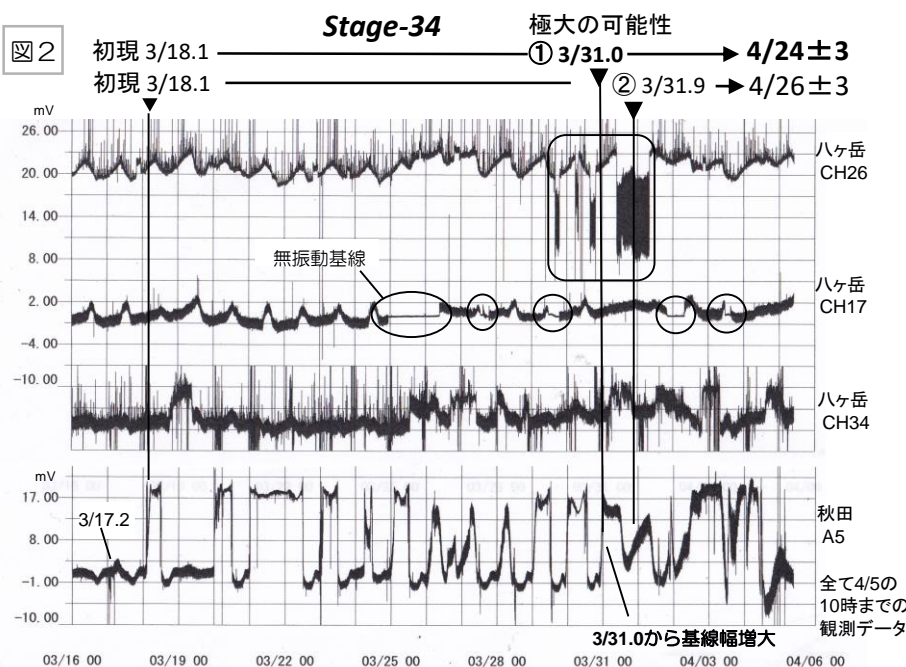
**Stage-34の極大確認必要
更に静穏化時期観測後検討**

◆前情報では、Stage-34の極大を3/27.3である場合は、4/13±3を示す可能性を記しました。しかし、実際は図2のとおり、ハヶ岳のCH17無振動基線（糸状特異変動）他の変動が継続し、3/27.3が極大とは認識できなくなりました。

◆CH26の基線から下向きに出た変動は図2のとおり、□で囲んだ時期だけに出現したものであること、CH26の同様変動はStage-30でも顕著に出現していたこと等から、□で囲んだCH26の変動出現時期にStage-34の極大がある可能性が高いと考えます。

◆CH26の変動は4回出現。どこを極大とするか、2種の可能性があります。
①3/31.0=変動出現全体の中心
②3/31.9=一番長い変動の中心
A5が3/31.0から基線幅増大が現れており、①の方が考えやすいですが、CH17の糸状変動の出現期間で判明する可能性も有。またA5の3/17.2に微弱な変動があり、これが初現の場合、示される日は4月末近くになります。いずれも最終的には変動終息＝静穏期突入を観測できれば、示す日を決定したいと考えます。3月以降、数日単位でステージが移行してきましたが、Stage-34は20日を超え、また複数観測装置にかなり大きな変動が出現しています。根拠薄弱ですが、Stage-34が最終ステージである可能性は十分に考えられます。

※CH26の火山噴火型変動は、3/30に微弱に出現しましたが、特異変動出現で確認できない時間帯もありますが、より顕著な複数日の出現は認められません。今後、噴火型前兆変動の複数日出現が観測されない限りは、現状、地震発生に伴う近隣火山での噴火の可能性は低いと考えます。



- 推定領域：図3の点線領域内＝大枠推定領域
図3の太線領域内＝可能性が考えやすい
図3の斜線領域＝火山近傍が考えやすい
- 推定規模：M8.0±0.3
M7.7~8.0の可能性考えやすい
または複合地震

複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で110~150km
程度となる様な複合地震活動の可能性
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等)

- 推定時期：2026年 4/24±3 or 4/26±3 (未確定)
※今後の観測必要。4月末近くの可能性も否定困難。

- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：9時±2 or 18時±3

(複合地震の場合は当てはまらない場合有)
※今後、噴火型変動が複数日観測された場合は、対応地震発生に伴い、震央に近い火山で噴火の可能性あり。